



# 北中かわら版

発行日：平成29年5月25日

「北中かわら版」は地域医療連携のための広報誌です

平成29年第3号 (No.31)

## 北陸中央病院理念

「人間愛に基づいた医療を通じて  
社会に貢献します。」

### 基本方針

1. 安全には細心の注意を払い、安心の医療に努めます。
2. 心のふれ合いを大切にし、人権を尊重します。
3. 情熱と生き甲斐をもち、常に前進を図ります。
4. 小矢部市の中核病院として急性期と地域医療の共存を果たします。
5. 公立学校共済組合員や地域の人々の健康管理事業に力を注ぎます。
6. 健全な経営に努めます。

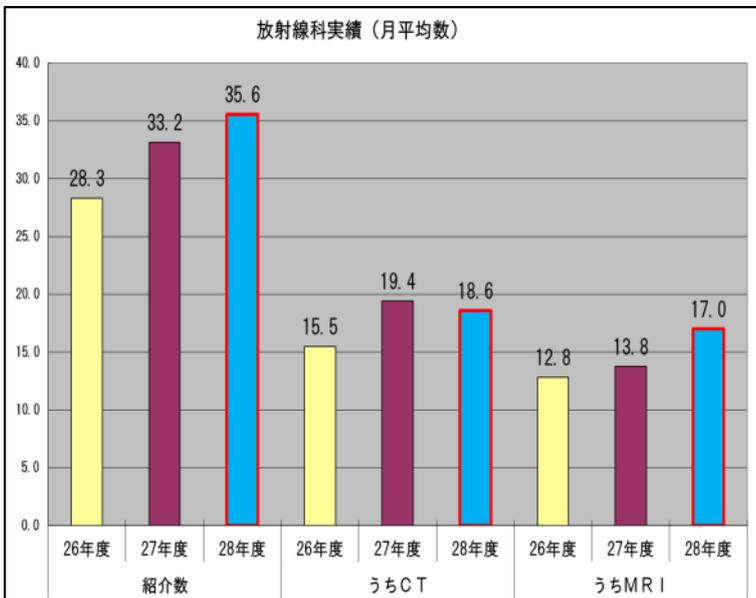
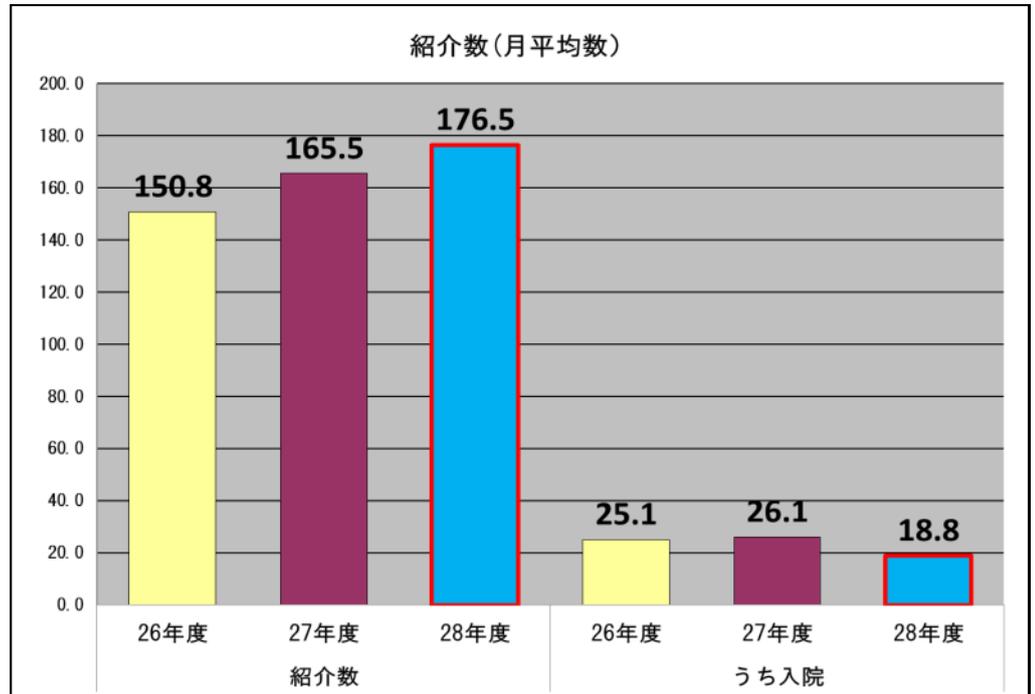
• 発行は、2, 3, 5, 6, 8, 9, 11, 12月です。「あいの風ほぐりく」が発行される月はお休みをいただきます。

• 次回は平成29年6月発行を予定しています。

平成28年度の延べ紹介患者件数は、

2118件（市内 1459件、市外 659件）で  
そのうち入院は  
226件（市内 175件、市外 51件）でした。

27年度より全体で76件の紹介件数の増加となりました。たくさんのご紹介、ありがとうございました。  
今後ともよろしくお願いいたします。



放射線科への紹介検査件数は、427件

※CT 223件（27年度+10件）

※MRI 204件（27年度+39件）

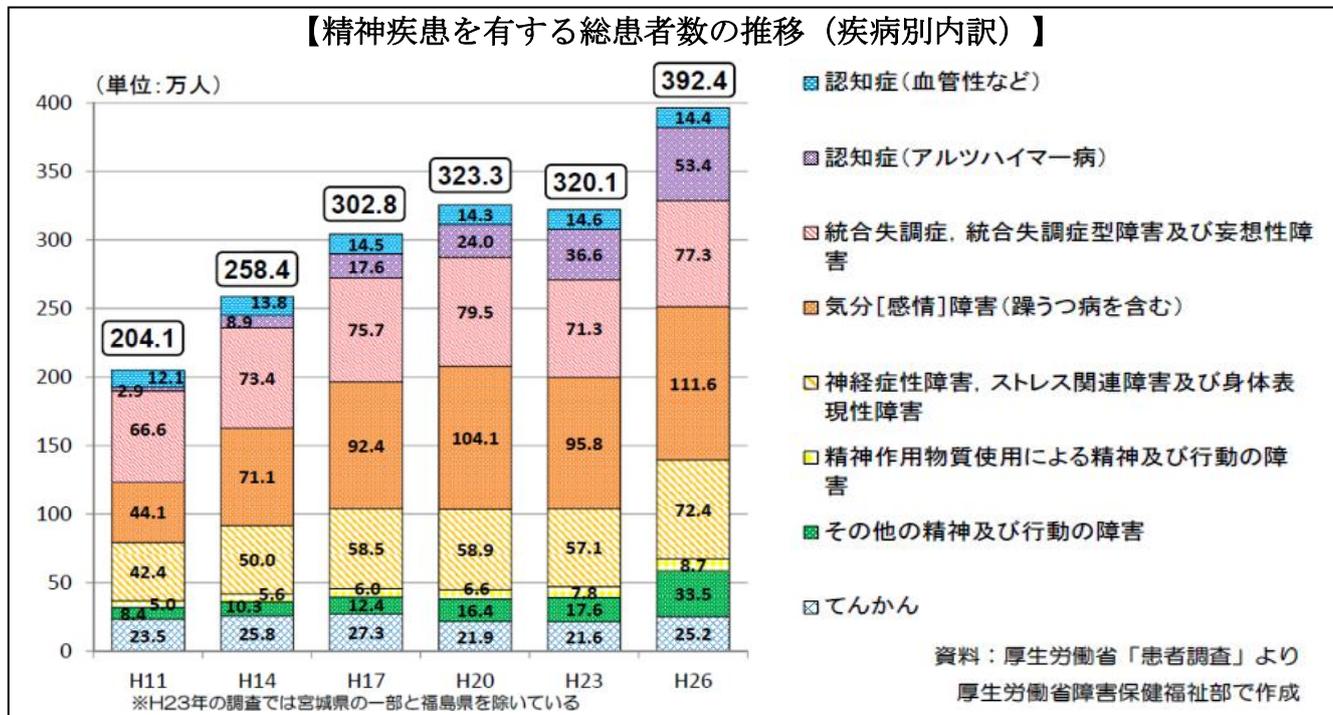
27年度より29件の件数の増加となりました。

CT装置は昨年9月に新しくなり、より低被ばくで、より高画質な画像をご提供出来るようになっております。フィルムからCDへの画像提供にさせていただければその効果をより実感していただけたと思います。

ご検討よろしくお願いいたします。

# メンタルヘルスは大丈夫でしょうか？！

近年、精神疾患により医療機関にかかっている患者数は増加傾向にあります。平成17年以降、依然として300万人を超える結果が続き、平成26年には400万人に迫る392.4万人にまで患者数が増加しています。内訳としては、多いものから、気分障害（うつ病など）、統合失調症、神経症性障害（パニック障害、不安障害など）やストレス関連障害、認知症となっており、近年においては、気分障害や認知症などの著しい増加がみられます。



これは、医療業界でも例外ではありません。患者の命や生活に関わる仕事であることや、患者やその家族との人間関係等がストレスの原因になりやすく、医療従事者の5%がうつ病や不安障害などのメンタルヘルス不調の傾向にあるという報告もあります。

また、環境変化の大きい春は「五月病」に代表されるように、気分がふさぎこんでしまったり、何に対してもやる気が出なかったりと、メンタルヘルス不調に陥りやすい時期でもあります。上記のような症状の他にも、イライラ感や不安感、身体への症状（頭痛、だるさ、睡眠の乱れ等）なども見られます。

少しでもこのような症状を自覚された場合は、まずはしっかりとした休養をとることが大切です。また日頃からのセルフケアとして、自分に合ったリフレッシュ方法（ストレッチ等の身体を動かすことや趣味、気晴らし、深呼吸等のリラクゼーション等）を日常生活の中に取り入れ、ストレスをため込みすぎないようにすることも重要です。そして、それでも症状が改善されない場合、一人で抱え込まずに、下記のような専門機関への相談や精神科、心療内科等の医療機関への受診を検討してみましょう。

## 【県内近隣の主な相談機関】

相談内容	相談機関	連絡先
心の健康についての不安や悩み	心の健康センター	076-428-1511
心と体に関する悩み	砺波厚生センター	0763-22-3512
	砺波厚生センター小矢部支所	0766-67-1070

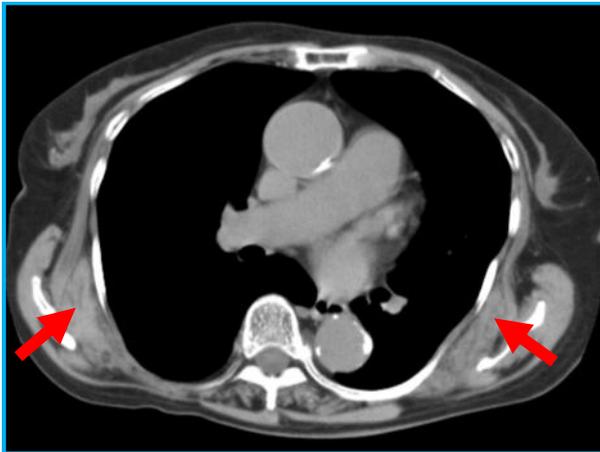
# 画像診断ミニレクチャー 第1回

北陸中央病院 放射線科医長 永吉 俊朗

現在、画像診断は、医療において重要な一分野となっています。北陸中央病院の放射線科には専任の画像診断専門医が勤務しています。そこで、「画像診断ミニレクチャー」として、この画像診断専門医による連載を開始させていただくこととなりました。この連載が先生方の診断の一助になれば幸いです。第1回目の症例は「弾性線維腫」です。

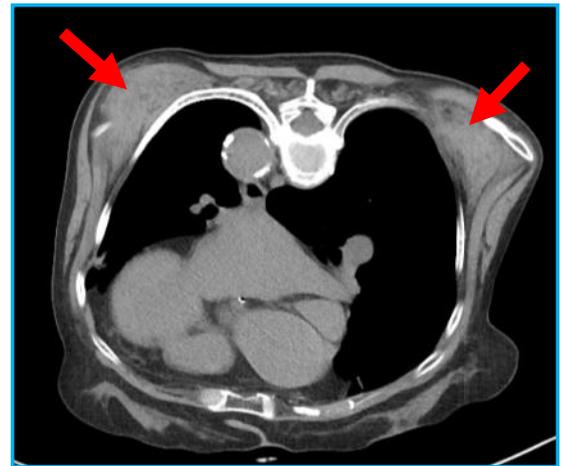
症 例： 80代、女性。  
主 訴： 以前より背部腫瘤を自覚、徐々に大きくなってきた。  
家族歴： 特記すべき所見なし。  
既往歴： 高血圧

胸部X線CT縦隔条件



2014.12 仰臥位

左右矢印部分の肩甲骨と肋骨の間に、筋肉と比較すると相対的に低濃度に見える部分が認められる。



2017.4 腹臥位

## 弾性線維腫(elastofibroma)

肩甲骨と肋骨の間に位置する半球状～凸レンズ状の軟部腫瘤です。内部に脂肪成分を含むため、筋肉と比較すると相対的に低濃度に見えます。慢性刺激に対する弾性繊維の反応性腫大とされ、真の腫瘍ではありません。脂肪を有する腫瘍や繊維性腫瘍、滑液包炎等が鑑別疾患となりますが、特徴的な局在と画像所見から診断は比較的容易です。頻度的には希な疾患ではなく、剖検で10%～25%程度の発見率です。両側性のことも珍しくなく、特に症状もありません。肩甲骨の内側に腫瘤を触知した場合、まず第1に疑われる病変です。

治 療： 無症状なら経過観察。  
腫瘤の増大により局所の違和感や疼痛、軋轢音を伴った肩甲骨の弾発現象である snapping scapula を伴うことがあり、腫瘍摘出術を行う場合もある。

# 北中かわら版

発行日:平成29年5月25日

編集:広報委員会

公立学校共済組合  
北陸中央病院

〒932-8503  
富山県小矢部市野寺123  
電話 0766(67)1150  
FAX 0766(68)2716

# 感染症発生動向

平成29年 第20週 5月15日(月)~5月21日(日)

## 《 定点報告の感染症 》

今週の県内上位6疾患

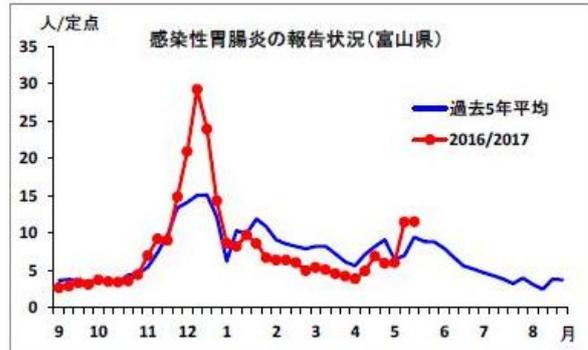
定点医療機関あたりの数

順位	疾病名	今週	先週	増減
1位	感染性胃腸炎	11.55	11.48	↑
2位	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2.55	2.34	↑
3位	手足口病	1.45	0.97	↑
4位	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	1.20	1.40	↓
5位	流行性耳下腺炎	1.00	1.59	↓
6位	流行性角結膜炎	0.71	1.14	↓

ホームページも  
ご覧ください  
<http://www.kouritu.go.jp/hospital/hokuriku/>

または

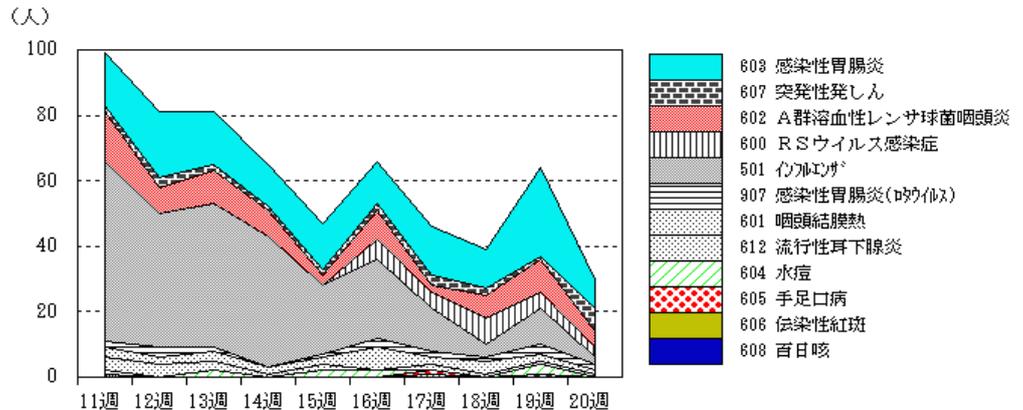
北陸中央病院で  
検索 してください



平成29年5月24日  
富山県感染症情報センター  
(直 0766-56-5431)  
(直 0766-56-8142)

## 砺波厚生センター

疾病別報告数の割合



## 北中RUN部も参加します!

清水病院長をはじめ職員とその家族30数名が3チームに分かれて「フルマラソンの部」に参加します。

昨年は377チームの参加があり、ロングディスタンス愛好会チームが113位、事務部長チームが289位、病院長チームが290位という結果でした。

今年は100位以内を目指してがんばります。黄色の似顔絵Tシャツの選手を見かけたら応援よろしくお願いいたします。



いっちゃん! 日医工 presents  
**フルマラソン 2017**  
日時 2017年6月4日(日)

GUEST ゲスト  
長谷川理恵  
ファッションモデル・タレント  
ランニング歴16年の「マシジャー」

郡司 恭子  
ZIP! 日本テレビアナウンサー  
2017年「福野アクト10」担当

リレマラ6年目も  
**ファイター!**  
会場 県民公園太閤山ランド